

# 我が街の記念碑

## 沖本邸(カフェおきもと)

国立駅 徒歩10分



昭和初期の洋館を改修したモダンな外観



隣に木造平屋建ての和館が建てられました。設計は国登録有形文化財の「本郷中央教会」なども手掛けた川崎忍です。その洋館を改修して作られたのが「カフェおきもと」です。

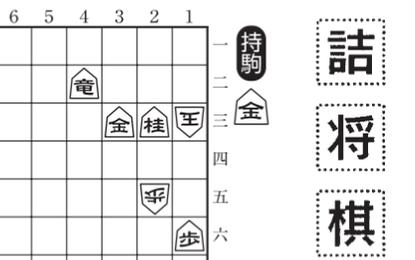
実はここにはとても興味深いエピソードがあります。沖本の没後二人の姉妹が住み続けてきました。が、高齢となり維持が困難に。

## 竹林の奥にひっそり佇む 姉妹が愛し住んだ家

そこです、ずっと付き合いのあった近所の主婦に、ある相談「大切にしてきた家、取り壊すのは忍びない。建物と敷地を譲りたい」。このような経緯で個人の女性が私財を投じてお屋敷をカフェに改修し保存することになったという物語。解体を免れ一旦止ましかけた時計が再び動き出し、地元の人たちに愛されている姿は、各地に多くの歴史的保存建築物が残っている中でもひと際珍しいケースだと言えます。

土井内蔵と川崎忍の親戚にあたる橋田洋子駒沢女子大学特任教授によると、「ほとんど建設当時のままで残っており非常に価値がある。家を愛して住んでいたことが伝わっている」とのこと。食事、カフェメニューも充実している、素敵な洋館の雰囲気の中でとても優雅な時間を過ごすことができます。

国分寺崖線の上にひっそりと佇む「沖本邸」。これから美しい秋の季節を迎えます。



### 詰将棋

### チヨット一服(1046)

子どもの頃に読んでレイ・ブラッドベリの「ハロウィーンがやってきた」で、ハロウィーンの起源が古代ケルト人の収穫祭であることを知ったが、日本ではそうしたことにはお構いなく、仮装して騒ぐことに特化している。日本の収穫祭としては新嘗祭があるが、宮中や神社以外では、あまり意識されていない。渋谷区などは今年もコロナ感染拡大を防ぐために集まらないでと呼びかけた。自宅でカボチャなどを飾りながら、ハロウィーンの起源を調べてみた人もいただろうか。自然の恵みに感謝することは食の未来を考えるうえでとても大切なことだ。

## 忘れえぬこと

### 同じ歳になり想う 今も亡き義母への感謝

建築事務 尾崎 実千代



夫の母つまり姑である義母の死は、私にとって衝撃でした。私は今、義母が逝った歳と同じ歳になり、彼女のことをよく考えます。

1994年11月19日、私は娘と高校の見学説明会に行っていました。当時は携帯電話

がありませんでした。校内放送で呼び出されました。それは、うるたえる義父からの電話でした。義母は出先でクモ膜下出血で倒れ、救急搬送されたのです。病院へ駆けつけると、人工呼吸器をつけられ重態でした。夢ではないかと思うほど、あまりに変わり果てた姿に立ちすくみました。

その日、いつものように行きつけの整骨院に送った際、「迎え頼むね、お父さんよろしく」と笑った義母。それが義母との最後の会話になりました。

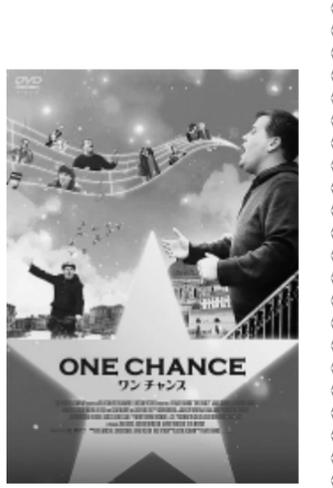
義母のきつい言葉に、若かりし私は涙した時もありましたが、今はそれも懐かしく感謝しています。今はもう、うとんやだんごは作らなくなりましたが、赤飯と餅は自家製に限りません。(村山大和)

### 旅の効能

今年でTV放映開始から50周年を迎えた『仮面ライダー』。その生みの親、石ノ森章太郎は出版作品数世界最多でギネス認定されるほどの漫画界の第一人者だ。石ノ森には漫画を描くのを断念しかけたことがあった。良き理解者の姉・由恵

が病で急逝した時だ。ショックを受けて出かけた世界旅行中に、偶然手にした雑誌の記事で「サイボーグ」という言葉と出会う。これが大人気作『サイボーグ009』の誕生につながった。

た。パチンコ好きで、整骨院のあとのパチンコが楽しんでいた。料理も掃除も手際よく、嫁の私には時折り冷たく感じ、辛い時もありました。だからパチンコを、一「整骨院まで送って」と頼んでくるのがちよっと嬉しく、義母が可愛いと感じる瞬間でした。2日後、義母は亡くなりました。土地柄、人を招いた時は手打ちうどんを出すのが決まりだったので、「何て面倒くさい」と思ったものでした。おめでたい時は赤飯、お正月は餅、彼岸はおはぎ、しょうゆの焼きだんご、等々、教えられました。



## ワンチャンス

監督 デビッド・フランケル

### 実在するオペラ歌手の波乱の半生

主演は「人生は、時々晴れ」のジェームズ・コーデンだが、「誰も寝てはならぬ」など作中の歌声はポール本人の吹き替えによるものだ。

本紙が届く頃には、衆院選の結果も出ていこうが、どの党が政権を担うにしても、長く続いたコロナ禍で傷ついた人々を救う政策にまず取り組んでほしい。経済的理由で進学を断念した若者が急増しているというが、ポールのように諦めずにチャレンジを続けられればかなう社会がやって来ると信じた。

### けんせつ 時評

10月24日をもって東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県の飲食店で、21時までの営業時短要請が解除された。コロナ第6波による再拡大の懸念も残るが、とりあえずこれまで溜まりに溜まった憂鬱を晴らすために、「プリテンズ・ゴット・タレント」というイギリスの人気オーディション番組で優勝したことをきっかけに一夜にして世界的オペラ歌手となったポール・ポッツの半生を、「ブラダを着た悪魔」のデビッド・フランケル監督が2013年に映画化した作品。子どもの頃からいじめられた子のポールは、恥ずかしい。子どもの頃からのいじめられた子が、長らく続いたコロナ禍で傷ついた人々を救う政策にまず取り組んでほしい。経済的理由で進学を断念した若者が急増しているというが、ポールのように諦めずにチャレンジを続けられればかなう社会がやって来ると信じた。